

国際女性会議WAW!とは？

- WAW!(読み方:「ワウ！」)は、World Assembly for Womenの略称です。
- 本会議は、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントという日本政府の最重要課題の1つを国内外で実現するための取組の一環として開催される国際会議です。2014年以降、これまでに5回開催し、幅広い分野において世界の第一線で活躍する方々を招き、日本や世界が直面する様々な課題を議論してきました。

本年のWAW!(WAW!2022)も、岸田総理大臣のイニシアティブにより、**12月3日(土)**に2024年以降の新札の顔となる**渋沢栄一の邸宅跡地である三田共用会議所**で開催します。また前後2ヶ月は**WAW!ウィークス(WAW! Weeks)**と名付けられ、様々な公式サイドイベント等が開催される予定です。

WAW! 2022のテーマ

WAW!2022のメイン・テーマは、「**WAW! for Mainstreaming Gender into a New Form of Capitalism 新しい資本主義に向けたジェンダー主流化**」です。新型コロナの長引く影響やウクライナ情勢等に端を発する経済的・社会的不安定さは、既存のジェンダー不平等を一層浮き彫りにしました。国際社会において、ジェンダー平等の重要性が再認識されている中で、より良い社会作りに向けて意見を交換します。

会議では、5つのサブ・テーマ(「新しい資本主義と女性」、「女性の尊厳と誇りを守る社会の実現」、「男性の関心・関与の拡大」、「意思決定プロセスへの女性の参画」、「女性の平和・安全保障への参画」)を設定します。さらに、全テーマを通じて次世代の若者たちのジェンダー平等の議論への参画や地方の問題にも焦点を当てていきたいと考えています。

※これまでのWAW!の取組については、外務省HP(https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/pc/page23_002346.html)をご覧ください。

※WAW!ウィークスの詳細は、外務省HP(https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page22_003905.html)をご覧ください。



写真:スピーチをする岸田文雄外務大臣(当時)



写真:WAW!開催を担う森まさこ総理補佐官(女性活躍担当)

メイン・テーマ:「WAW! for Mainstreaming Gender into a New Form of Capitalism 新しい資本主義に向けたジェンダー主流化」

- 新型コロナの長引く影響やウクライナ情勢等に端を発する経済的・社会的不安定さは、既存のジェンダー不平等を一層浮き彫りに。国際社会において、ジェンダー平等の重要性が再認識されている。
- WAW! 2022では、「WAW! for Mainstreaming Gender into a New Form of Capitalism 新しい資本主義に向けたジェンダー主流化」をメイン・テーマに据え、国内外の様々な分野で活躍するリーダーや有識者を招へいし、ジェンダー平等が実現されたより良い社会作りに向けて意見交換を行う。
- 本年の開催日は12月3日(於:三田共用会議所)。また、前後2か月の期間には公式サイドイベント(WAW! ウィークス※等)を実施予定。※WAW! ウィークスとは、関係省庁、地方自治体、NGO他民間団体、学校・学生団体、企業、我が方在外公館、在京大使館等が実施する関連イベントの総称。国内外のジェンダー平等実現や女性のエンパワーメントの推進に向けた機運の醸成を目的とする。

各論(サブテーマ)

岸田政権の目玉政策である「新しい資本主義」を中心に、G7日本議長国下での議論を見据え、5つのサブ・テーマを設定。さらに、全テーマを通じて次世代の若者たちのジェンダー平等の議論への参画を促進する。WAW! 2022や公式サイドイベント等を通じて、これらのトピックについて議論を深化させていく。

サブテーマ	新しい資本主義と女性	女性の尊厳と誇りを守る社会の実現	男性の関心・関与の拡大	意思決定プロセスへの女性の参画	女性の平和・安全保障への参画
主な論点	<ul style="list-style-type: none"> ✓ デジタル・STEM教育 ✓ スタートアップ ✓ グリーン社会 ✓ 男女間の賃金格差の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ジェンダーに基づく暴力の予防・被害者の支援・加害者の処罰 ✓ 女性の直面する困難への対応、等 ✓ 女性の健康と経済 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 男性の家事・育児・介護への参画拡大 ✓ ジェンダーに基づく先入観・偏見の撤廃、等 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 政治・経済・学術分野や地域の意思決定プロセスへの女性の参画推進 ✓ 働き方改革、等 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 女性の平和・安全保障への参画 ✓ 女性と防災

若者・地方

※「女性活躍・男女共同参画の重点方針2022」は、(1)女性の経済的自立、(2)女性が尊厳と誇りを持って生きられる社会の実現、(3)男性の家庭・地域社会における活躍、(4)女性の登用目標達成の4つの柱から構成される。
※上記テーマに基づき、複数の分科会を実施する。

これまでのWAW! 開催実績 (※参加国数・人数は日本人登壇者を含む)

■第1回WAW! (2014年9月12日、13日)

テーマは「女性の力を成長の源泉に」。ラガルドIMF専務理事をはじめ、女性分野で活躍するトップ・リーダー94名が28か国から出席し、経済における女性の活躍促進、グローバルな課題と女性のイニシアティブ等について議論。

■第2回WAW! (2015年8月28日、29日)

テーマは「WAW! For All」。サーリーフ・リベリア大統領（ノーベル平和賞受賞）をはじめとするオピオン・リーダー154名が47か国から参加し、ワーク・ライフ・マネジメント、男性の関与、シングルマザー、理系女子、防災、起業、教育、平和構築、ODA支援等、若者、女性を取り巻く課題について幅広い切り口から議論。

■第3回WAW! (2016年12月13日、14日)

テーマは「WAW! For Action」。インスタグラムCOOレヴィーン氏を含む各界のトップリーダー102名が27か国から集まり、女性のリーダーシップやワーク・ライフ・マネジメント、理系分野における女性の活躍推進、女性の健康、女性・平和・安全保障、地方創生について議論。また、前回に引き続き、ユース・テーブルを設け、若者からも発信。

■第4回WAW! (2017年11月1日、2日、3日)

テーマは「WAW! in Changing World」。イバンカ米国大統領補佐官やゲオルギエヴァ世界銀行CEOといった各界のトップ・リーダー66名が22か国から集まり、企業におけるジェンダー分野の取組、技術革新と女性、無償労働の再分配、女性・平和・安全保障、メディアと女性、若者と女性活躍の未来、自然災害と女性、女性起業家支援について議論。

■第5回WAW! (2019年3月23日、24日)

テーマは「WAW! For Diversity」。W20と同時開催し、マララ・ユスフザイ・ノーベル平和賞受賞者やバチレ国連人権高等弁務官、ミケティ・アルゼンチン副大統領、7カ国の女性外相（パナマ、ドミニカ国、ホンジュラス、ブルガリア、クロアチア、グアテマラ、オーストリア）等、28か国から計98人が登壇。技術革新と人材育成、地方活性化と雇用創出、多様性を育てるメディアとコンテンツ、女性の参画と紛争予防・平和構築・復興、多様性と企業経営、家族の未来等について議論。